

令和7年度 施策事前評価シート

施策責任者 所属	地域防災課 くらし環境課		電話番号	直通	989-5505 989-5514
基本目標	絆でつながる 安心な ながいずみ				
政策	助け合い いのちを守るまちの実現		施策分野	防犯・交通安全	
施策分野 の総事業費	前年度 決算額	72,487 千円	今年度 予算額	63,044 千円	

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	単位	進捗 評価
1	年間交通事故の発生 件数	目標値		230	220	210	200	200	件	A
		実績値	254	203	171	216	162			
2	年間刑法犯認知件数	目標値		215	210	205	200	200	件	A
		実績値	224	142	143	189	164			
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								
				総合評価			A：想定以上に進んでいる			

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	地区安全会議への支援、防犯カメラの維持管理や防犯灯の整備、交通・防犯啓発活動の実施、交通指導員会への支援、交通安全施設の整備、下土狩駅及び長泉なめり駅の自転車駐車場の管理や平成30年度よりくらし環境課内に消費生活相談員を配置し消費生活相談窓口を設置した。また、AIを活用した特殊詐欺対策電話機等設置支援事業の実施に加え、新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せていることから、高齢者や若年層を対象にした消費生活講座を積極的に開催している。
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・第一当事者種別で見ると、普通自動車が148件、事故類型別では車両相互の追突事故と出会い頭で全体の約6割を占めている。 ・高齢運転者起因による事故は前年と比較し減少したものの、依然として高い割合を占めており、高齢者の事故防止など継続した交通安全対策の強化が必要である。 ・認知件数は前年度を比較して減少したが、自転車盗、詐欺の増加が目立っている。自転車盗は、その殆どが無施錠であり、狙われやすい状況となっていると料する。また、詐欺については、その手口も、近年、多様化している。防犯活動団体への支援など継続した防犯対策の強化が必要である。 ・依然として70歳以上の高齢者による消費生活相談が多いが、29歳以下の若年層の相談も増加傾向にあり、内容は通信販売や訪問販売、オンラインゲームが多い。また特殊詐欺対策電話機等設置事業費補助金への申請は多い。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・高齢ドライバーを対象に高齢者安全運転装置設置事業費補助を実施しているが、申請件数が減少傾向にあり検討が必要となる。 ・令和5年度には道路反射鏡やグリーンベルトの設置基準を新設した。 ・安全な日常生活を守るため、町が通学路等に設置した防犯カメラの適正管理に努めるほか、暗い箇所への防犯灯の設置を推進している。 ・町では消費生活相談を令和6年度に124件を受け付け、前年度と比較し微増となっている。多様化する相談内容に迅速に対応することで町民の財産を守るため、有資格者である消費生活相談員の配置は必要不可欠な状況となっている。また、特殊詐欺対策電話機等設置支援事業などによるハード対策に留まらず、消費生活講座の積極的な展開やホームページ、広報紙等あらゆる媒体や機会に通じて啓発活動を実施していく。